令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	少年育成センター
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2635
	取組方針	青少年の健全育成の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子どもの安全確保活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	青少年の非行の防止や地域の見守り力の向上のため、学校・地域・市民活動団体と連携し、効果的な情報提供や青色パトロールカーをはじめとした職員による補導活動の充実、健全育成活動の担い手の育成などに取り組んでいる。特にインターネット利用開始の低年齢化が進んでいることから、未就学児の保護者に対して、ネット利用に係る講座の受講を促進する必要がある。また、学生防犯パトロール隊と地域の見守り活動や巡視活動をしている各地区の健全育成団体等をつなぎ、防犯アプリを活用した危険個所の登録方法の習得や地域の危険個所の点検による防犯マップの作成などの防犯活動をさらに充実させ、市民総ぐるみで取り組む「ながら見守り」を展開していく必要がある。		
年度概要	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費		
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	未就学児の保護者、市民活動団体及び健全育成団体
意図（どのような状態にしたいか）	未就学児の保護者へ早期に情報モラルの啓発をし、家庭の教育力向上と、将来的にネットを利用した犯罪被害や非行の防止につなげたい。また、学生防犯ボランティアと地域の健全育成団体が協働し、地域住民が「ながら見守り」について理解を深め、市民による主体的な健全育成活動が展開されるよう支援したい。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
「安全・安心なネット利用」講座の受講募集圏・校数	校	0	0	101	101	101
団体との連携依頼のため地区青健連総会等への出席数	地域	0	0	18	10	10

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
「安全・安心なネット利用」講座を受講した保護者の数	人	目標値	0	0	400	600	800
		実績値	0	0	538		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
講座の受講を小学校、幼稚園及び子ども園に対して積極的に周知した結果、小学校での就学時健康診断や入学周知会での開催依頼が複数あり、計画を大幅に上回る受講者の実績を得られた。	(目標達成度)		134.5%				
	(得点)		35点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
(目標達成度)							
(得点)							

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	11,786	11,824	41,189	43,477
(事業費)	[千円]	4,302	4,297	33,469	35,757
(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費	4,435千円 27,236千円 291千円	総額	33,469	
			特定財源	国	1,466
				県	63
				市債	0
				他	0
一般財源	31,940				
令和 7 年度	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費	5,949千円 29,585千円 223千円	総額	35,757	
			特定財源	国	1,983
				県	63
				市債	0
				他	0
一般財源	33,711				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市民の主体的な健全育成活動への取組支援と、子どもたちがネット・ゲーム依存に陥ることなく、また将来的にネットを利用した犯罪被害や非行を防止する対策に係る取組により、子どもの安全確保に寄与した。引き続き、講座の受講や防犯パトロール隊と地域の見守り活動や巡視活動をしている各地区の健全育成団体等をつなぐ防犯活動の更なる充実に向けて取り組む必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

子どもたちがネット・ゲーム依存に陥ることなく、また将来的にネットを利用した犯罪被害や非行を防止する対策の取組はこれからも継続して行っていく必要がある。特に健全育成活動への取組支援については、防犯アプリを活用した地域の危険個所の点検による防犯マップの作成など、更なる連携に向けて取り組む必要がある。